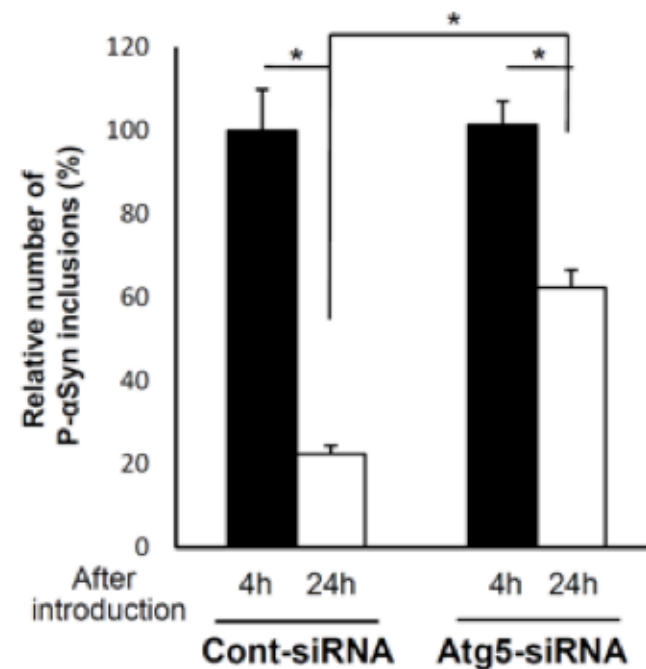
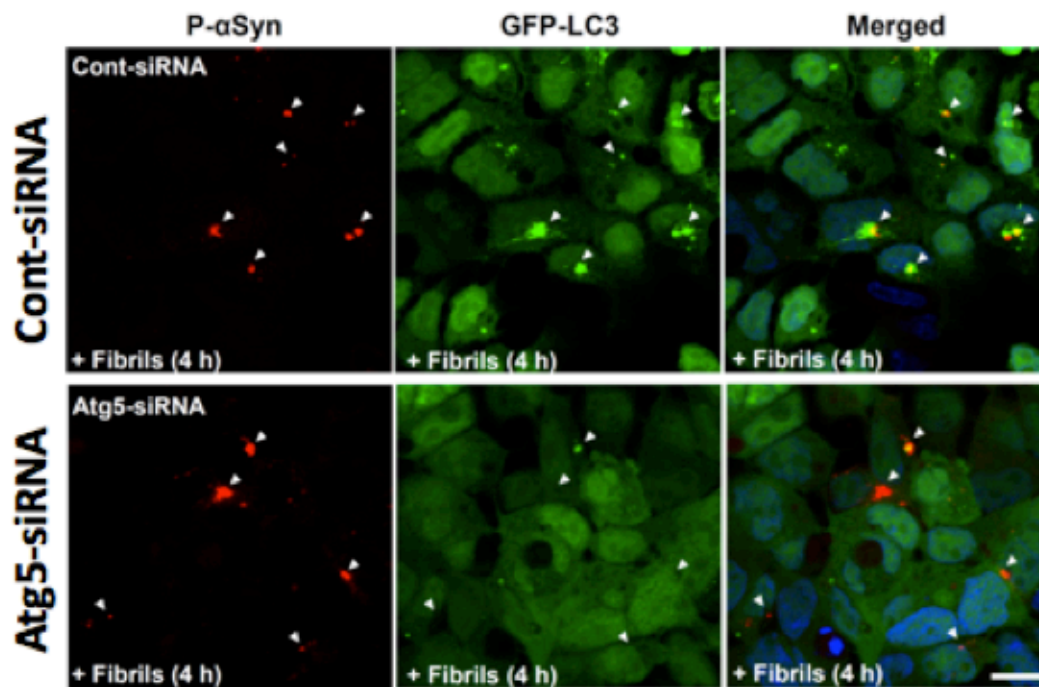
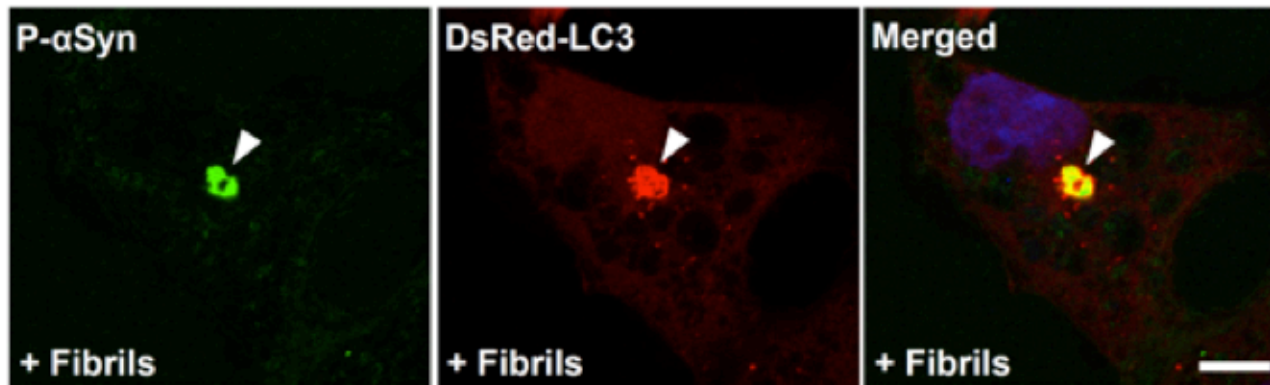
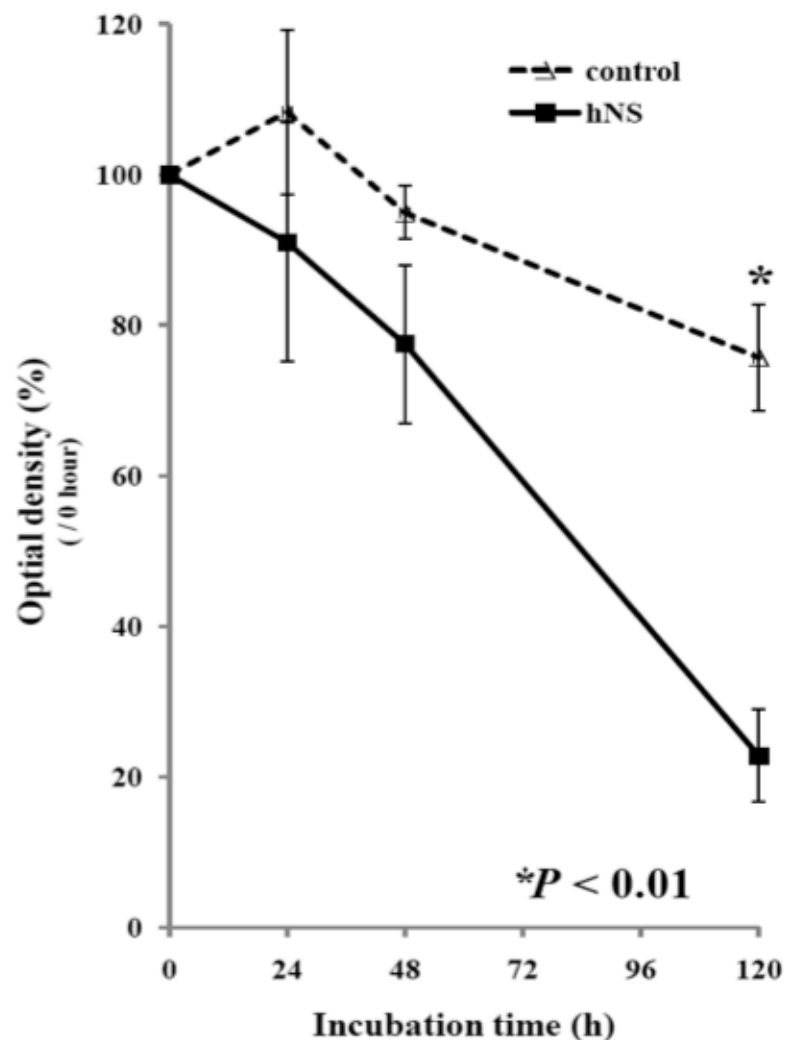
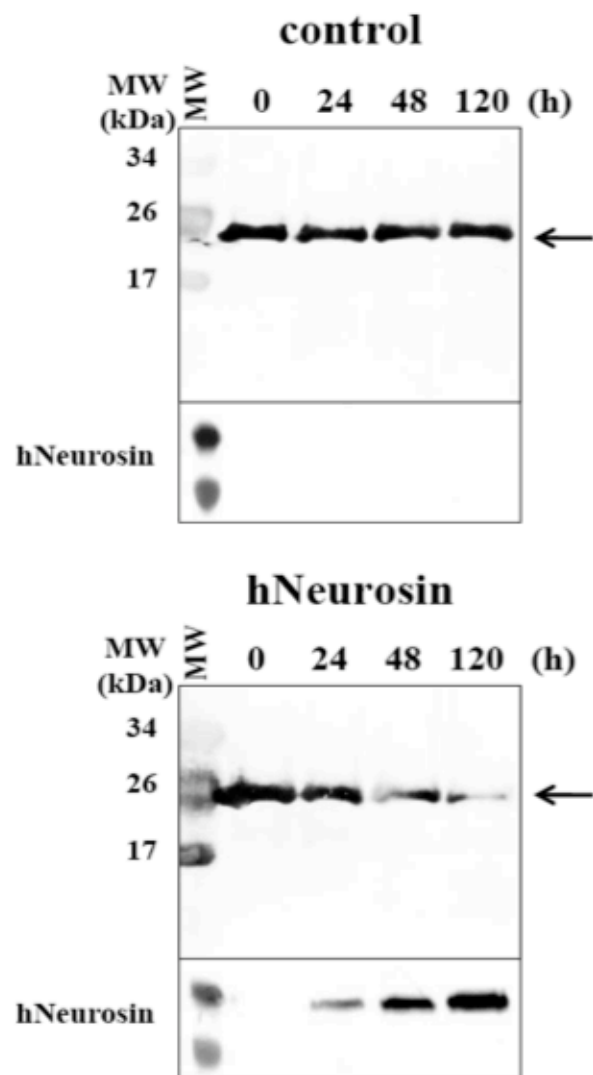


α-Syn封入体のautophagyによるクリアランス



HEK293細胞に導入したα-Syn凝集体(P-αSyn)はオートファゴソームマーカーLC3と共局在を示した(上段)。また、コントロール細胞では24時間後に約80%のα-Syn凝集体が分解されていたが、オートファゴソーム形成に必須な蛋白であるAtg5のノックダウン細胞では40%のしか分解されなかった(下段)。

Clearance of extracellular α -syn by hNS



細胞外に放出されたneurosinはrecombinant α -synを分解した
→Neurosinは細胞外で α -synの分解活性を有するプロテアーゼとして機能している。